あらぶんちょ散歩 vol.124

# 一ツ橋一・二丁目（ひとつばしいち・にちょうめ）

皇居のほとり、竹橋から神保町に広がる一ツ橋エリア。戦後のオフィスビルの最高傑作のひとつ、パレスサイド・ビルディングに、明治開校の共立女子学園、小学館や集英社などの出版社が軒を連ね、本と文化とレトロモダンな香りが漂う。建築探訪もお楽しみあれ。

パレスサイドビルの屋上にとまっているハトのオブジェ。作者は高村光太郎賞も受賞した一色邦彦氏。かつて新聞社が使っていた伝書鳩を平和のシンボルとして、ビルの設計者が遊び心で置いたそう（写真提供／毎日ビルディング）

**中央工学校 開校の地**

明治42年(1909年)にこの地に開校した中央工学校は、田中角栄の出身校として知られる。現在は北区王子に移転



**東京外国語学校発祥の地**

東京外国語大学の直接の前身となる東京外国語学校が明治6年(1873年)に開設された地

**雉子橋**

雉子小屋のほとりにあったことから名付けられたそう。江戸城本丸にも近く警備も厳しかったので番士の厳しさとけんけんと鳴く声をかけたともいわれる

**パレスサイド・ビルディング**

地下6階、地上9階建ての昭和41年に開館した複合オフィスビル。毎日新聞社ほか、100以上の飲食店やオフィスが入居している。建築業界の賞を数多く受賞する、現在も色あせない斬新なデザインが魅力。屋上に庭園もある

**一ツ橋**

徳川家康の入城の頃は大きな丸木が1本架けられていたことから、一ツ橋と名付けられたという。八代将軍吉宗の子・宗尹が橋の近くに御三卿の一人として居を構え、橋の名をとって「一橋家」と称した。現在の橋は大正14年架設

## ❶ 未来食堂

所 千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館B1F
電 なし
時 11:00～16:00（金土～22:00）
休 日・祝・月

## ❷ ミカフェート 一ツ橋店

所 千代田区一ツ橋2-3-1 小学館ビル1F
電 03-6261-5434
時 8:00～20:30（土11:00～19:30）
休 日・祝

## ❸ 森のブッチャーズ

所 千代田区一ツ橋2-6-5
電 03-6261-4610
時 月-金11:30～14:00LO 17:00～22:30LO（土16:00～）
休 日・祝

## ❹ 赤坂飯店 パレスサイドビル店

所 千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビルB1F
電 03-3213-2678
時 11:00～21:30LO（土～20:00LO）
休 日・祝

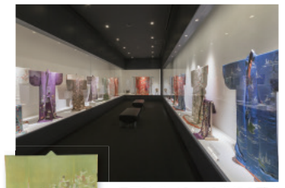
## ❺ ピッツェリア ジオ ピッポ

所 千代田区一ツ橋2-6-12 東西堂ビル1F
電 03-6380-9894
時 11:30～14:30LO 17:00～23:00LO（土・祝12:00～21:30LO）
休 日

今月のエリアウォーク **6500歩**
皇居の緑も楽しめるアクセス至便な都会散策

## SPOT 長きにわたり収集された収蔵品を展示 入館無料の「共立女子大学博物館」

明治19年創立の共立女子学園の130周年を記念して平成28年10月に新設された博物館。江戸時代から昭和初期の日本の着物や帯、大名家の婚礼調度品、近代ヨーロッパのドレスやガラス器など、服飾品や工芸品、美術品を収蔵。さまざまな企画展やワークショップも行なっている。現在は5/11まで「和と洋が出会う博物館 共立女子大学コレクション・3」を開催中。



←江戸時代、18～19世紀の萌黄縮緬地流水花束扇面模様振袖

→1870～1880年頃のアメリカン・キルト「マリナーズ・コンパス」

**共立女子大学博物館**
所 千代田区一ツ橋2-6-1 共立女子学園2号館B1F
電 03-3237-2665 時 会期中9:30～16:30
休 土・日・祝（4/1、5/3を除く）、4/11、4/12
¥ 入場無料

## SPOT 国内唯一! 書道分野専門の図書館 「毎日書道図書館」

毎日書道会が運営している、書道専門の図書館。蔵書数は1万5000冊を超え、個人の書道家の作品集や書道関係の雑誌など、書に関するさまざまな図書資料が充実している。毎日書道会のホームページから蔵書の有無を無料検索することもできる。一般は200円で利用可能（毎日書道展関係者は無料）。閲覧できる曜日が限られているので訪問時にはご注意を。

↑字書・字典、書道全集、書写ほか豊富な資料が、会派を問わず揃う

**毎日書道図書館**
所 千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル1F
電 03-3286-0773 時 火・木・第1土11:00～17:00
休 土・日・祝（第1土曜を除く）
¥ 一般200円





マイタウンヒーロー

## パレスサイドビル名店会 会長 岡田 洋明さん

**イベントを通して季節感とともに伝統文化を伝えていきたい**

昨年50周年を迎えたパレスサイドビル名店会では、年に2～3回、イベントを開催しています。4～5月の鯉のぼり祭り、6～7月の七夕祭りに加え、今年から、巨大なツリーの展示と抽選会を行う12月の歳末感謝祭もスタートします。今年で10回目となる鯉のぼり祭りには、毎年7,000～8,000人が訪れます。飾られる鯉のぼりは、岐阜県の無形文化財に指定されている郡上八幡の紺屋「渡辺染物店」の特別製で、今年はその制作工程を写真パネルで展示し、400年以上前から続く伝統技法もご紹介します。また、同時期に国立近代美術館で開催される「横山大観展」のチケットの半券で名店会加盟店で優待が受けられるタイアップ企画もあります。ぜひお越しください。今後は、秋から冬にかけても何かイベントができたら…と思っています。季節感を感じてもらうだけでなく、古き良き伝統文化を伝えられるような、50年の時を経て今も色褪せない、レトロモダンなパレスサイドビルにふさわしいイベントにしたいですね。

↑冷たい川の水で寒ざらしを行うことで、生地がしまり、色鮮やかになる

↑色鮮やかな鯉のぼりは一見の価値あり

**鯉のぼり祭り**
時 4/9(月)～5/5(土)
パレスサイドビルの春の風物詩。中央の吹き抜けに泳ぐ鮮やかな鯉のぼりのほか、長さ7mの反物に川中島の合戦が描かれた武者のぼりも見事

## ❶ 未来食堂

### “あつらえ”や“まかない”など 革新的な試みあふれる定食屋

メニューは日替わり定食のみ。50分の労働の対価として1食分が提供される“まかない”や、夜は400円プラスで食材を選んで小鉢を作ってもらえる“あつらえ”など、ユニークなシステムが話題の実験的な食堂。ぜひ一度体験してみて。

↗日替わり定食900円。おひつごはんはおかわり自由

→ユニークな発想でお店を切り盛りする、店主の小林せかいさん

## ❷ ミカフェート 一ツ橋店

### フードメニューも充実 最高の一杯が味わえるカフェ

新しくなった小学館ビル1Fにある、コーヒーハンターJosé.川島 良彰氏が選び抜いた世界最高品質の完熟豆を使用した、“最高の一杯”を提供してくれるお店。一ツ橋店は、他店舗以上にフードメニューが充実。コーヒーとのマリアージュを楽しんで。

↗一ツ橋店限定の「小学館ブレンド」400円。モーニングはトーストがついて500円

## ❸ 森のブッチャーズ

### ランチどきは行列必至! 肉塊に食らいつく快楽

肉料理の有名店「東京ブッチャーズ」系列の3号店。古民家風のレトロな店内では、塊のまま炭火で焼き上げた迫力の肉料理が味わえる。ランチは分厚いローストビーフ（950円）とローストポーク（850円）の2種類。夜は、ラムや鶏などさまざまな肉を堪能できる。燻煙の香りをまとった肉塊は垂涎ものだ。

↗松阪ポークほか、豚肉は3種類。骨付き豚ロース（1ポンド）1,940円

→スタッフの吉岡新平さん。スタッフはみんな気さくで元気良し!

## ❹ 赤坂飯店 パレスサイドビル店

### 麺点師の手作り小籠包子と 旨辛な担々麺が人気の中華

ビルの創業当時からある、クラシカルな中華料理店。通し営業なので、いつでも本場の味が楽しめるのが嬉しい。人気メニューは、旨辛スープが平麺によく絡む担々麺と、全中国大会で優勝した特級麺点師が手作りしている小籠包子（5個800円）。ランチの4種ある定食メニューは各1,000円。

↗人気の担々麺1,000円は、もちもちとした特注の平麺と程よい辛さが◎

→このビルの歴史にも詳しい、二代目オーナーの中島潜さん

## ❺ ピッツェリア ジオ ピッポ

### 本格薪窯で焼き上げる 香ばしく軽やかなナポリピッツァ

ピッツァイオーロ（ピッツァ職人）が小麦やチーズなど、素材から厳選したピッツァは、直径30cmを超える大きさだが女性一人でもペロリと食べられる美味しさ。特製石窯で薪を使って焼き上げた香ばしい香りとチーズのバランスが食欲をそそる。ピッツァのほか、パスタやコース料理もあり。

↗日替わりの本日のピッツァ1,000円。ランチのピッツァは9種類（サラダかスープ付き）

→イタリア人のシェフ・ピッポ氏直伝の技を持つ、店長・塘将吾さん